

魚類のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

不法投棄現場下流の杉倉川、熊原川は、県内外から遊漁者が訪れる場所であることから、そこに生息する魚類の食品としての安全性を確認するため、現場下流で採捕したヤマメのダイオキシン類調査を実施しました。

2 調査結果

今回のヤマメの調査結果は 2.0pg-TEQ/g-wet であり既存調査結果の範囲内でした。なお、試料については、平成20年6月から8月に田子町内の熊原川で採捕したヤマメ 11匹の可食部（筋肉部）のみを分析に供しました。

平成20年度ヤマメのダイオキシン類調査結果

採捕地点	濃度 (pg-TEQ/g-wet)	備 考
熊原川	2.0	採捕時期：平成20年6月～8月

参考（既存調査結果）

公表されている国が実施したヤマメのダイオキシン類調査結果

年度	地域	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H11	関東地方	0.13～0.99
H11	中部地方	0.24～2.0
H11	九州地方	0.12

青森県が実施したヤマメのダイオキシン類調査結果

年度	採捕地点	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H17	熊原川	2.5

青森県が実施した魚類のダイオキシン類調査結果

年度	採捕地点	種類	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H16	熊原川	イワナ	0.28
H18	熊原川	ウグイ	0.62
H19	熊原川	イワナ	0.72